

第117期 中間報告書

（平成30年 4 月 1 日から）
（平成30年 9 月30日まで）

日本ギア工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

さて、当社第117期上半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の会社の現況に関する事項等につきまして、次のとおりご報告申しあげます。

平成30年12月

取締役社長 寺田 治夫

1. 会社の現況に関する事項 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)

(1) 事業の経過及びその成果

当上半期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向となり、個人消費や設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外経済におきましては、米国・中国間の貿易摩擦の拡大等により日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロールは増加いたしました。ジャッキ及びその他の増減速機が減少したため、歯車装置部門の受注は減少いたしました。歯車部門につきましてはその他産業機械用が増加したことにより、受注は増加いたしました。これにより歯車及び歯車装置事業としての受注は増加いたしました。工事業では火力発電所をはじめとする定期検査工事等が減少したことにより、受注は減少となりました。

以上の結果、当上半期の受注高は40億19百万円（前年同期比8.7%減）、売上高は31億49百万円（前年同期比2.3%減）となりました。一方、当上半期末の受注残高は39億26百万円（前期末比28.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高が減少したため、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失72百万円）、経常損失は41百万円（前年同期は経常損失69百万円）、中間純損失は38百万円（前年同期は中間純損失58百万円）となりました。

中間配当につきましては今後の見通し、その他諸般の事情を慎重に検討いたしました結果、1株につき2円とさせていただきます。なにとぞご賢察の上、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

事業別の状況

事業別の受注高及び売上高は次のとおりであります。

単位：百万円（未満切捨）

事業	受注高			売上高		
	金額	構成比 (%)	前年同期比増減 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比増減 (%)
歯車及び歯車装置事業	3,135	78.0	0.7	2,230	70.8	△2.5
歯車装置	2,720	67.7	△2.4	1,918	60.9	△5.4
歯車	414	10.3	27.1	312	9.9	19.7
工事業	884	22.0	△31.4	918	29.2	△1.6
合計	4,019	100.0	△8.7	3,149	100.0	△2.3

【歯車及び歯車装置事業】

歯車装置部門のうち、バルブ・コントロールの受注高は、火力発電所向けが減少したものの、石油、化学、上下水道、鉄鋼、船舶、原子力発電所向け、補修部品が増加したことにより、前年同期比8.1%増加いたしました。売上高は、石油、上下水道、鉄鋼向けが減少したものの、火力発電所、化学、船舶、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比2.9%増加いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は前年同期比5.9%減少し、売上高も前年同期比11.0%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比25.9%減少し、売上高も前年同期比23.4%減少いたしました。

その結果、歯車装置部門では、受注高は前年同期比2.4%減少、売上高は前年同期比5.4%減少いたしました。

歯車部門の受注高は、自動車用、鉄道・船舶用が減少したものの、建設機械用、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比27.1%増加いたしました。売上高は、自動車用、建設機械用が減少したものの、鉄道・船舶用、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比19.7%増加いたしました。

以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比0.7%増加、売上高は2.5%減少いたしました。

【工事業】

工事業につきましては、受注高は鉄鋼向けが増加いたしました。火力発電所、原子力発電所、石油、化学、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比31.4%減少いたしました。売上高は上下水道、鉄鋼向けが増加いたしました。火力発電所、原子力発電所、石油、化学向けが減少したことにより、前年同期比1.6%減少いたしました。

当下半期の見通しにつきましては、国内の原子力発電所は一部稼働しておりますが、火力発電所とともに本格的な定期検査工事にはまだまだ時間は掛かるとお考えます。

そのような中、当社はメーカーの基本である「品質・コスト・納期・アフターサービス」の競争力を強化し、他社との競争で打ち勝つことで、収益の拡大を図り、責任の明確化とスピードアップを高めることで、着実に成長をする企業を目指してまいります。

事業内容に関しましては、歯車及び歯車装置事業のうち、バルブ・コントロールにつきましては、新製品の開発と販売強化、海外で製品PR活動を推し進めてまいります。ジャッキにつきましては、高付加価値製品への改良開発で受注拡大を展開してまいります。その他の増減速機につきましては、工事業と連携を強化し、需要掘り起こしを行い、新たな市場へ参入してまいります。歯車につきましては、短期的に大幅な回復は見込めませんが、生産の効率化を推し進め、大型歯車加工機械を導入したことにより新たな市場に向けて販路拡大に邁進してまいります。工事業では、メンテナンスに必要な技能向上のための教育、育成を継続的に実施し、発電所への元請受注の拡大を推し進めてまいります。

その上で、平成30年度の事業目標を売上高72億円（前事業年度比2.6%減）、経常利益1億90百万円（前事業年度比36.1%減）とし、この目標の達成を目指して全社一丸となって努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財産及び損益の状況

区 分	当 上 半 期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)	前 年 上 半 期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
受 注 高 (百万円)	4,019	4,402	7,948
売 上 高 (百万円)	3,149	3,222	7,390
経 常 利 益 (百万円)	△41	△69	297
中間(当期)純利益 (百万円)	△38	△58	217
1株当たり中間(当期)純利益(円)	△2.70	△4.15	15.33
純 資 産 (百万円)	7,636	7,438	7,704
総 資 産 (百万円)	10,514	10,047	10,557

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、前年上半期及び前期に係る財産及び損益については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

(3) 主要な営業所及び工場 (平成30年9月30日現在)

区 分	名 称 (所 在 地)
本 社 ・ 工 場	藤沢本社(神奈川県藤沢市桐原町7番地)
営 業 所	横浜支店(神奈川県横浜市)、大阪支店(大阪府吹田市) 札幌営業所(北海道札幌市)、名古屋営業所(愛知県名古屋市) 広島営業所(広島県広島市)、福岡営業所(福岡県福岡市)
事 業 所	藤沢事業所(神奈川県藤沢市石川)、札幌事業所(北海道札幌市) 仙台事業所(宮城県仙台市)、福島サービスセンター(福島県双葉郡楡葉町) 千葉事業所(千葉県八街市)、京浜事業所(神奈川県横浜市) 柏崎事業所(新潟県柏崎市)、名古屋事業所(愛知県名古屋市) 金沢事業所(石川県金沢市)、大阪事業所(大阪府吹田市) 若狭事業所(京都府舞鶴市)、広島事業所(広島県広島市) 福岡事業所(福岡県福岡市)

(4) 使用人の状況 (平成30年9月30日現在)

使 用 人 数	前 期 末 比 増 減	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数
359名	—	39.7歳	16.0年

(注) 上表には臨時雇用者等81名は含んでおりません。

2. 会社の株式に関する事項（平成30年9月30日現在）

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 57,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 14,280,000株 |
| (3) 株主数 | 34,041名 |
| (4) 大株主の状況（上位 10名） | |

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
株 式 会 社 成 和	5,633千株	39.70%
株 式 会 社 三 田 商 店	1,027	7.24
日 本 ギ ア 取 引 先 持 株 会	438	3.08
株 式 会 社 G M I N V E S T M E N T S	300	2.11
株 式 会 社 千 代 田 組	210	1.47
正 法 工 業 株 式 会 社	157	1.10
株 式 会 社 日 伝	123	0.86
日 本 ギ ア 工 業 社 員 持 株 会	105	0.74
岡 野 バ ル ブ 製 造 株 式 会 社	100	0.70
寺 田 治 夫	53	0.37

(注) 持株比率は自己株式(90,210株)を控除して計算しており、自己株式は上記の10名の株主からは除いております。

3. 会社役員に関する事項（平成30年9月30日現在）

代表取締役社長	寺 田 治 夫
取 締 役	林 秀 樹
取 締 役	中 山 厚
取 締 役	香 川 明 久
取 締 役	渡 辺 倫 也
取 締 役	沖 田 芳 樹
常 勤 監 査 役	川 井 正 人
監 査 役	杉 山 功 郎
監 査 役	三 田 義 之

- (注) 1. 取締役香川明久、渡辺倫也、沖田芳樹の3氏は、社外取締役であります。
2. 監査役杉山功郎及び三田義之の2氏は、社外監査役であります。
3. 当社は取締役香川明久、取締役沖田芳樹、監査役杉山功郎の3氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

中間貸借対照表 (平成30年9月30日現在)

単位：百万円 (未満切捨)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,272	流動負債	1,943
現金及び預金	3,025	支払手形及び買掛金	1,089
受取手形及び売掛金	2,225	1年内返済予定の長期借入金	238
商品及び製品	119	未払法人税等	19
仕掛品	657	賞与引当金	248
原材料及び貯蔵品	1,188	製品保証引当金	7
その他	55	環境対策引当金	3
固定資産	3,242	株主優待引当金	9
		その他	327
有形固定資産	1,970	固定負債	934
土地	1,013	長期借入金	695
その他	957	資産除去債務	173
無形固定資産	235	その他	65
投資その他の資産	1,036	負債合計	2,877
投資有価証券	611	(純資産の部)	
前払年金費用	374	株主資本	7,402
その他	55	資本金	1,388
貸倒引当金	△5	資本剰余金	848
資産合計	10,514	利益剰余金	5,198
		自己株式	△33
		評価・換算差額等	223
		その他有価証券評価差額金	223
		新株予約権	10
		純資産合計	7,636
		負債純資産合計	10,514

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 7,170百万円
 2. 自己株式の株式数は90,210株であります。

中間損益計算書（平成30年4月1日から
平成30年9月30日まで）

単位：百万円（未満切捨）

科 目	金 額	
売 上 高		3,149
売 上 原 価		2,342
売 上 総 利 益		806
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		856
営 業 損 失		49
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	8	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	7	16
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	5	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	2	7
経 常 損 失		41
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	3	3
税 引 前 中 間 純 損 失		37
法 人 税 等		0
中 間 純 損 失		38

株 主 メ モ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン
同 連 絡 先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 電話 0120-975-960 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告 当社ホームページ (http://www.nippon-gear.jp) に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）ではお手続きできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する、証券口座への振替請求、住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（株式会社アイ・アール ジャパン）にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）でお支払いいたします。

(ご案内)

毎年3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式200株（2 単位）以上を保有されている株主様を対象に、QUOカード1,000円分を贈呈いたします。